

スポーツにおける「非合理性」の持つ意味についての研究

A study of the “Irrationality” in sports.

1K07A054-5

指導教員 主査 寒川恒夫 先生

小野瞳

副査 石井昌幸 先生

【目的】

近代スポーツまでは、スポーツと生活の関係や祝祭的で無秩序、宗教性や呪術性のような儀礼が大きくそして深く関係していた。しかし近代スポーツから現代スポーツにかけて、スポーツのメディア化やメディアの導入などによって、スポーツの機械化や数量化といった合理性の強いスポーツへと変身してきた。さらに現代スポーツは表面的にも内面的にも合理化が進んでいる。にもかかわらず、アスリート達は、勝利の為に縁起担ぎや神頼みをとといった、呪術性や儀礼の信仰心のような非合理性に頼る背景がある。スポーツの合理化が進み勝利への方法や勝利の確率は数段上がっている。合理化が進み常に勝利が求められ、勝利至上主義が掲げられる現代スポーツの中で、実際に競技を行うトップアスリートは何故そのような非合理性に頼るのか、その非合理性に頼る何故を本論では追求する。

【方法】

関連書籍やトップアスリートによる自伝や雑誌、インタビューによる言動や行動から、トップアスリートの合理性と非合理性の関係について追及していくという研究方法をとった。また、その中でも主に次の点に着目して追求していく。

- ① 前近代から近代への社会構造の変化が、近代スポーツ登場の背景となっている。まずは、現在におけるスポーツがどのような経緯で誕生したのか、またその歴史を社会構造の変化と共に振り返る。
- ② 現代スポーツの合理化の現状と非合理性の関係について、その歴史と背景を踏まえた上で論じる。
- ③ 合理化するスポーツの急速な発展において、今日トップアスリート自身の言動や行動から垣間見える非合理性について論じる。
- ④ ①～③を踏まえた上で、「スポーツにおける非合理性の持つ意味」について論じる。筆者が考える「スポーツにおける非合理性の持つ意味」とは、近代スポーツから現代スポーツにかけて、合理性の強いものとなってきたスポーツ、その中でもトップアスリート達は競技とは別に非合理性を追い求めている。それは何かの信仰心であ

り、何か宗教心に関係しているという、筆者の考える仮説である。まずはスポーツにおける非合理性とは何かを明らかにすることで、トップアスリートにとって非合理性がどのような意味を持つのか論じていく。

【結果】

この研究によりスポーツにおいて合理化の進む環境の外では、非合理的な環境を求めているトップアスリートが多いことが分かった。また、苦境や窮地に立たされた時に合理的な練習や環境からは得ることのできない①「メンタル」②「人間性の成長」③「原点」について、アスリートないし人間として必要なことが競技においても必要であり、人間の根底を支えているのである。そしてこれらをアスリート達は理解しているからこそ、「喜・怒・哀・楽・悔」の様々な場面で上の3点に至りそして求めるのである。また、競技におけるトップパフォーマンス発揮の背景には、競技外でのリラックスが大きく関係している。リラックスなどの非合理的な行動がメンタル面に良い影響を与え、本来のトップパフォーマンスの土台となっているのである。また、遊びからなる文化行為のスポーツと人間を超えたものを垣間見られる神聖なスポーツを、トップの舞台上で活躍するトップアスリートのみが体感でき、触れ、それらを最高のパフォーマンスとして発揮し、努めることが非合理性の本質であり、根底に根付いているものであることも分かった。

【考察】

筆者が仮説を立て研究したが、トップアスリートにおける非合理性とは、最高のパフォーマンス発揮のための努力であり、祈り、休息、感動であり、本来のスポーツとスポーツの本質に触れることであった。それは何かの儀礼や宗教などの信仰心ではない、アスリート以前の人間としての本来の姿や根底に行き着くための超自然的現象なのであることが分かった。非合理的な側面が勝利に大きく結び付くことを理解しているからこそ、トップアスリート達は非合理性に頼るのである。